

2020年5月28日  
FCA ジャパン株式会社

## フィアット初のドキュメンタリー・フィルム“One-Shot” 新 Fiat 500e をベースとする時代を超越したマスターピース 3 台のワンオフカー製作の舞台裏に迫る



- “One-Shot”：フィアット初のドキュメンタリー・フィルムがオンエア。アルマーニ、ブルガリ、カルテルが新 Fiat 500e に独自の解釈を施したワンオフカーを製作するプロセスの“舞台裏”にスポットを当てた、エクスクルーシブなメイキングビデオ
- ナレーション担当は、フィアット・ブランド・グローバル・プレジデント兼 FCA チーフ・マーケティング・オフィサーのオリヴィエ・フランソワ。デザイナーにインタビューし、パートナーの証言を引き出し、ディテールに焦点を当て、持続可能な素材の選択にも目を向ける。
- “One-Shot”は、この[リンク](#)から視聴可能。

2020年5月27日 トリノ

新 Fiat 500e のデビューに際して、フィアット・ブランド・グローバル・プレジデント兼 FCA チーフ・マーケティング・オフィサーのオリヴィエ・フランソワは、次のように語っています。「第一印象は、初めて出会った瞬間に決まるもので、二度目のチャンスはありません」。この言葉には、このニューモデルを発売当初からあるべき場所に据え、自動車業界のマイルストーンにしなければならないとの決意が込められています。



3台のマスターピースを取り上げたフィアット初のドキュメンタリー・フィルムにも、まったく同じことが当てはまります。時代の流れにも色褪せることのないこれらの芸術作品は、トリノのフィアット・チェントロ・スティーレで初めてパートナーと出会ってから、今年の3月にミラノで正式発表されるまで、6か月間の“旅”を経て製作されました。

フランソワの発言は、アルマーニ、ブルガリ、カルテルという“メイド・イン・イタリア”を代表する3社とのコラボレーションによるユニークでエクスクルーシブな“ワンオフ”プロジェクトを支える思想でもあります。

この短いドキュメンタリー・フィルムでは、ミーティングが繰り返され、熱い議論が繰り返されています。それはチームワークの現れであり、それぞれの専門分野を代表するデザイナーの間に生まれた相乗効果の証であり、類まれなプロジェクトで自らの役割を果たしたいという欲求の表れでもあります。それは、唯一無二を創造する行為、つまり、“メイド・イン・イタリア”の最高峰が集い、新 Fiat 500e に独自の解釈を加えるという行為です。

その努力は、3台のワンオフカーとして結実しました。それぞれが“メイド・イン・イタリア”と呼ぶにふさわしい、そしてこのプロジェクトに関与するパートナーにふさわしいスタイル、創造性、クラフトマンシップを具現化し、さらに地球の未来さえも予見します。これらのワンオフカーは、単に持続可能性を実現するだけでなく、最良のノウハウ、創造性、革新技術が組み合わされている必要がありました。

このビデオで“旅”のガイドを務めるのは、ワンオフ・プロジェクトのカリスマ・ディレクターであり、指揮者であるオリヴィエ・フランソワです。彼は、3つの傑作を生み出した創造的行為について語っています。

旅の始まりは、フィアット・ブランドの本拠地、トリノでした。シーンが切り替わり、日暮れを迎えたローマ。鮮やかな色調とそれが織りなすラインは、世界に冠たるブルガリを象徴しています。ミラノは、言うまでもなく、ファッションとデザインの

世界的中心地であり、アルマーニとカルテルは、それに少なからぬ貢献をしてきました。ここで場面が転換し、不思議な縁により、新 Fiat 500e のプレゼンテーションは、このミラノで行われることとなります。

ジュネーブ・モーターショーの開催が中止となり、プロジェクトは突然の方向転換を強いられました。そのため、当初の計画とは異なるプラン B が採用されました。新 Fiat 500e とワンオフカーの発表計画が見直され、ミラノでの開催が決まりました。



“One-Shot”は、YouTube、Facebook、Instagram など、フィアットのソーシャルメディア・チャンネルで視聴できます。この刺激的な 15 分の短編フィルムは、Rockets 社の指導の下、VICE イタリアが作成/プロデュースしました。ドキュメンタリーの手法に基づき、わかりやすく、効果的な方法で、通常は一般に公開されることのないシーンを浮き彫りにしています。

トリノのチェントロ・スティーレ正面玄関ドアから、物語は厳かに始まります。最初に、ロセッラ・グアスコ率いる“カラー&マテリアル”部門を訪問しますが、そこには、洗練された研究センターとエレガントなファッション・アトリエを融合したような雰囲気があります。徹底的にディテールにこだわる姿勢は、イタリアン・クリエイティブの典型的な“ノウハウ”であり、真にユニークな体験をしている時にプロジェクトチーム全体に宿る感情が表現されています。カメラは、この事実を冷静に映し出しています。

ここからデザイン責任者のクラウス・ブッセのインタビューへと続き、スタイルとフォルムを決定する創造的なプロセスの裏にある思想が語られるとともに、歴代 Fiat 500 が工業デザインに果たした役割、特に当世および後の業界全体に無意識に及ぼした影響にも話が及びます。1950 年代のレジェンドモデルである Fiat 500（イタリアでは親しみを込めて“チンクィーノ”と呼ばれています）を、2007 年に現代に蘇らせたのは、紛れもなくチェントロ・スティーレであり、人々の日常と世界の街角に“色彩”を与えると同時に、アーバンモビリティのニーズを的確に捉え、ユニークで際立った回答を示しました。

3月にミラノで開催されたワンオフカーの発表会は、新 Fiat 500e が“イタリアのアイコン”であること、イタリア産業界のトップ企業を束ね、イタリアン・エクセレンスを促進して世界中に周知するアルタガンマ財団の“名誉会員”であることを立証しました。

2020 年、新たな時代が到来します。新 Fiat 500e は、自らの評判と人気を最大限に活用し、変化のインスピレーションとなり、ソリューションそのものとなるのです。しかしながら、その道りを単独で歩むことはできません。フィアットと同様のポジティブな思考を持ち、私たちと価値観と目標を共有し、地球の現状を変えるために自ら行動する



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

PRESS RELEASE

意思を持つパートナーが不可欠です。個性的な3台のワンオフカーにも、持続可能性を実現しながら、地球の環境をもっと良くしようとする意欲が明確に表れています。アルマーニ、ブルガリ、カルテルは、イタリアン・エクセレンスのシンボルとして世界的に有名な企業であり、新 Fiat 500e プロジェクトに賛同しています。彼らは時代の変化を敏感に読み取り、ユニークな3台のワンオフカーを製作することで、当初から電気自動車として開発された FCA 初のモデル、新 Fiat 500e の発表をお祝してくれました。

この[リンク](#)から、新 Fiat 500e および 3 台のワンオフカーの詳細、画像、映像をご覧ください。

